

Furniture connection Vol.1

「機能する椅子、道具としての家具」

本来、道具には目的があります。それに要求される機能とデザイン、双方のバランスが取れたとき、はじめて魅力的な愛用品にかわるのです。

良い道具とは、何世代にも渡って受け継がれるもの。

この度、Furniture connection Vol.1として企画いたします。「機能する椅子、道具としての家具」は、5組のファニチャーメーカーの仕事と姿勢を、それが置かれる状況と目的、その為の機能と設計を軸に、「家具、原寸図、パネル」の3部構成で展示いたします。

○椅子→座ること自体に、本来の目的があるわけではない。

→食事、休息、応接、読書、執筆、デスクワーク、コミュニケーション、etc...

その椅子は、どのような狙いで設計されたものか？会場にはダイニングセット他、そうした状況をイメージできる、椅子と家具の組み合わせを展示し、実際に座っていただけます。

さらに、原寸図と補足パネルも展示し、制作者本人による説明により、ふだんデザインや、スタイルの陰に見過ごしてしまいがちな、「道具としての家具」の本質的魅力、使い手にとっての本当に良い家具とは何かを、ご確認いただけることと思います。

皆さまのお越しを、心よりお待ちしております。

・企画／運営 Furniture connection

*今回が1回目であります、Furniture connection企画／展覧会。

「良い道具、家具」とは何かを、制作者が主体的に提案し、観覧者とともに考え、モノ作りの本質的側面で、共有することを目指すものです。

・展覧会タイトル 「機能する椅子、道具としての家具」

・会期 2009年10月11日（日）、12日（祝）

・時間 11日 2時～19時、12日 11時～19時

・会場 大阪市中央公会堂（国指定重要文化財）B1展示室（約30坪）

<http://www.nakanoshima-style.com/culture/culture2.htm>

・出展者（敬称略順不同）

木の工房KAKU / 賀来寿史 <http://www.kinokoubou.com/>

soushinan / 木村洋章 <http://www15.plala.or.jp/soushinan/>

家具の音楽 / 名嘉真正 <http://hakoya.exblog.jp/>

Wooden Furniture Yoshinori / 松下由典 <http://kinosigoto.kinokoubou.jp/?p=69>

新木工房 / 新木聡 <http://www.ac.auone-net.jp/~shinki/index.htm>

Dr.チェアー / 平田三千男（新木工房とユニット参加）

個と個の関係、つながり／コネクト、摩擦、抵抗、差異、抗争／そして可能性

Furniture connection 企画・運営／名嘉真正

〒518-0737 三重県名張市安部田728

TEL/FAX 0595-63-0313 携帯 090-1863-2612 e-MAIL sinatora@asint.jp